

(報告)

大江まちづくり住民協議会等からの要望書の提出について

大江まちづくり住民協議会ほか1団体から要望書が提出されましたので、下記のとおり報告します。

令和5年11月10日

教育長 前川 明範

記

- 1 提出日 令和5年10月19日
- 2 提出者 大江まちづくり住民協議会 会長 岡野 和樹
京都府立大江高等学校同窓会 会長 小西 健司
- 3 要望内容
 - (1) 京都府立大江高等学校の存続と継続的発展
 - (2) 限界集落の対策と地域の連携
 - (3) 京都丹後鉄道の維持発展

要 望 書

大江まちづくり住民協議会
会長 岡野 和 樹

京都府立大江高等学校同窓会
会長 小 西 健 司

令和5年10月19日

要 望 書

京都府教育委員会
教育長 前 川 明 範 様

大江まちづくり住民協議会
会 長 岡 野 和 樹



京都府立大江高等学校同窓会
会 長 小 西 健 司



要望の趣旨

貴職におかれましては、益々、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、学校教育の推進に格別のご尽力を賜り、敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

さて、大江高等学校は遡ること明治41年に加佐郡立河守養蚕学校を前身とする創立100年以上の歴史を有する由緒ある高等学校であります。しかしながら、昨今の少子高齢化の大波に見舞われ、定員割れの状況が続いています。

こうした経過の中、大江高等学校におかれては、現状打破を図るべく、学科改編が図られ、令和2年に単位制総合学科である「地域創生科」となって、地域を担う人材育成に取り組まれているところであります。

しかしながら、今年度の入学生は、56人と生徒数の回復はままならず、定員割れの状況が続いています。

しかし、少人数にあっても生徒諸君の各分野での活躍は枚挙をいとわず、大江町民の誇りとなっています。

貴委員会におかれては、今季、高校教育の再編を検討されるとお聞きいたしております。

限界集落を抱えた町の維持と活性化には、大江町以外から若者を引き寄せる高校の存在は不可欠の存在です。そして、全国には、こうした窮状を乗り越え、生徒募集エリアを全国に広げ、再生出発した高校があります。そうした成功事例を踏まえて、京都丹後鉄道の維持発展のためにも、大江高等学校を単独で継続していただきますよう、格別のご理解とご高配を賜りたく大江町民と同窓会員の総意をもってお願い申し上げます。

つきましては、次の要望を致します。

要望事項

- ◇ 京都府立大江高等学校の存続と継続的発展
- ◇ 限界集落の対策と地域の連携
- ◇ 京都丹後鉄道の維持発展